

タマネギの育苗と植え付け

タマネギは発芽を揃え、健苗を育て、活着が良好であれば7～8割方栽培に成功したといえる作物であると思います。以下のことに注意して育苗から挑戦してみてください。

1 栽培のポイント

- (1) 早まきすると、とう立ちしやすくなるので品種にあった適期に播種します。
- (2) 播種後苗が立つまではかん水をこまめに行い、発芽率を高め、生育を揃えます。
- (3) 基肥は燐酸と石灰類の施用を重点に施肥量を測って、むらの無いよう施します。
- (4) 定植は苗の根をできるだ切らないよう掘り取り、乾かさないうちに植え付けます。

2 作型と品種

| 作 型 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 品 種 |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----------------|
| 早採り | | | | ■ | ■ | ■ | | | ○ | — | × | — | マッハ ソニック |
| 普 通 | | | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ○ | — | × | — | ネオアース もみじ3号 |

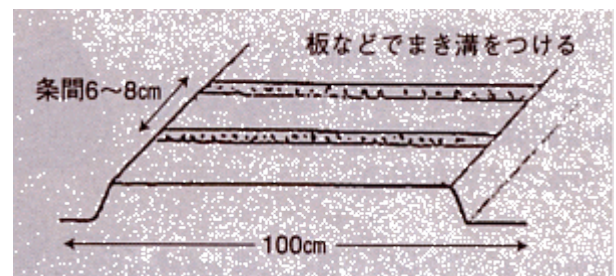
3 育 苗

本ほ10㎡(苗数約250本)当たり育苗床は約0.5㎡、種子は約5ml必要です。

播種10日前に育苗床0.5㎡当たり堆肥3kg、石灰50g、化成肥料50g、ようりん30gを全面に施用し、耕うん後1～1.2m、高さ約15cmの畝を立てます。条間6～8cm、深さ約5mmのまき溝を角柱の角を利用してV字につけ、種子間隔1cmを目途にすじ播きします。

覆土は、種がかくれる程度に行い軽く鎮圧します。播種後、乾燥しないように切りわらや籾殻をふるか、不織布などで覆い、たっぷりとかん水します。

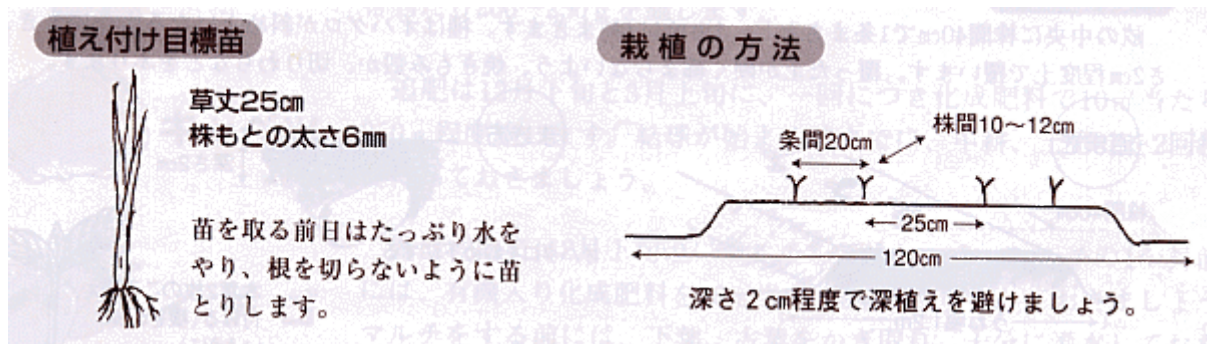
発芽が始まったら、被覆物を取り除きます。草丈7～8cmのころ密生部を間引き、追肥は葉の色を見ながら土入れと合わせて1～2回行います。土入れは、苗床0.5㎡当たり肥え土(腐葉土など)2.5㍑、化成肥料20gをよく混ぜあわせたものを均等に苗の上からふるいなどを利用して行います。土入れは、根張りをよくし、倒伏を防ぎ、良苗を育てるのに欠かせない作業です。



4 植え付け準備と植え付け

植え付け2週間前に、10㎡当たり堆肥30kg、苦土石灰1kgを施用し深く耕しておきます。7日前には、ようりん0.5kg、有機入り化成肥料1.2kgを施用して耕うん後、畝立てを行います。畝幅は4条植えで120cm程度とします。

条間20~25cm、株間10~12cm、深さ2~3cmに浅く植え付け、十分かん水します。良い苗とは育苗日数50~55日の若苗で徒長していないものです。



[\(戻る\)](#)